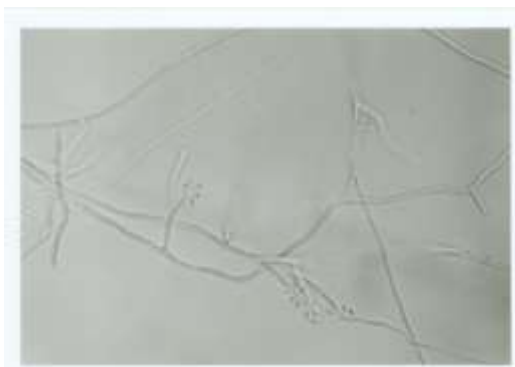


M 炭マットの抗菌効果について

床下調湿剤に生えたカビ

基本的には、調湿剤にカビが発生することは余りありませんが、濡れたまま長い時間が経過しその上に有機物が乗るとカビが発生いたします。床下では、高温多湿になる環境が整うと、木材やコンクリートにも、カビが発生し環境を著しく悪化させます。



(カビの顕微鏡写真)



(マット地面側に生えたカビ)

木炭マットに生えたカビ

木炭のマットであっても、調湿能力の低い炭などは、湿度の高いところに放置しますと炭が飽和状態になりカビが発生します。また袋体の素材によっては、袋に多量のカビが発生しますので注意が必要です。



(電子顕微鏡写真2000倍)

M 炭マットの抗菌処理

M 炭マット抗菌処理面に絡みついた繊維状のものが抗菌剤です。この線状に伸びた抗菌剤でカビや菌を防止します。下記の表を見ましても、抗菌処理 M 炭マットは確実にカビや菌を殺しています。

M 炭マットの抗菌処理無し	
大腸菌	28万個の大腸菌が24時間で1,000万個になった。
黒コウジ菌	15万個の黒コウジ菌が24時間後8.9万個になった。
M炭マットの抗菌処理済み	
大腸菌	28万個の大腸菌が24時間後に110個未満に減少した。
黒コウジ菌	15万個の黒コウジ菌が24時間後に960個に減少した。